

新型コロナ禍において ASKは「アーティストファースト」の支援を行います

今年、世界を襲った新型コロナウイルスの影響により、芸術家たちは表現の場を失い、コンサートや演劇、展覧会などが私たちの前から消えました。そのことで私たちは、あらためて芸術や文化の恩恵に気づかされたのではないで

しょうか。みなさまの寄付で芸術・文化を支援するASKは、今年度25件の活動を支援する予定です。すでに多くの活動が中止や延期に追い込まれていますが、ASKは「アーティストファースト」の視点で、きめ細かな支援を行っています。

2020年度採択事業のご紹介

音楽(岩井コスモ証券ASK支援寄金助成)

堀江恵太(ヴァイオリン)

活動概要 ▶ 自主企画によるコンサート活動など

大阪府吹田市生まれ。3歳からヴァイオリンをはじめ、2004年から2010年にかけて「佐渡裕とスーパーキッズオーケストラ」に所属。2015年京都市立芸術大学音楽学部弦楽専攻を首席で卒業後、2018年ウィーン国立音楽大学修士課程を最優秀で修了しました。

帰国後は自身で「ケイタ・リング・カルテット」「トリオ・トリオ・カルテット」「YOUTHful DreAmerS」など同世代の気鋭の演奏家たちとともに室内楽ユニットを主宰し、関西を中心に数多くのコンサートを自主的に開催しています。

兄の牧生さん(チェロ)、妹の詩葉さん(ピアノ)も傑出した

演奏家として知られており、父の朝日放送アナウンサー堀江政生氏が曲目解説



堀江恵太さん

を行うファミリー室内楽トリオ「堀江トリオ」のメンバーとしても活躍。大きな注目を集めています。「堀江トリオ」は老人ホームや特別養護施設などへの出前コンサートを行ったり、カンパの収益を震災復興の支援に充てたりするなど、チャリティー活動にも熱心に取り組んでいます。

美術(一般助成)

TOCHKA(現代美術アーティスト・ユニット)

活動概要 ▶ 「Back to the Future Festival」(オランダ)への参加など

TOCHKAは、モノカツエさんとナガタタケさんによる現代美術のユニットとして1998年に結成。絵画と映像の融合をテーマに「活動写真的」な映像を目指し、2005年からPiKA PiKAと自らが呼ぶ独自の映像手法を生み出しました。これはペンライトで描いた軌跡を写真に撮り、それを連続アニメーションとして見せることで、空中に手で描いた光の造形が画面の中を自在に動き回るといった斬新な映像表現で、テレビコマーシャルでも使われて話題となりました。また、一般の人々が参加して実際にPiKA PiKAを体験するワークショップも各地で盛んに行っているほか、国内外で行われる

国際アート展や映像フェスティバルに数多く招待されており、都市の風景を光の軌跡で浮かび



©TOCHKA 2020

上がらせる作品などで国際的に高い評価を得ています。今年度の活動としては、オランダで開催されるアナログ映像のフェスティバル「Back to the Future Festival」などへの参加を予定しています。

美術(一般助成)

三原聡一郎(現代美術アーティスト)

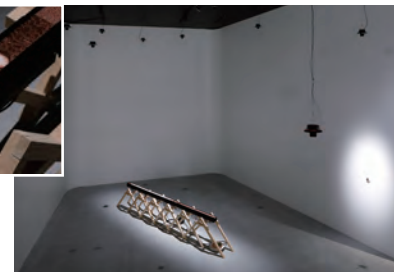
活動概要 ▶ NISSAN ART AWARD ファイナリスト展への参加など

三原さんは、電子的な機器やITなどを取り込んだいわゆるメディアアートの分野において、関西を拠点に国際的に活躍するアーティストです。自然現象をテーマに、環境と呼応するデバイス(機器)を自ら作り出し、そのデバイスを起点として、音、泡、水、火、電子、微生物、気流などの自然の物質や現象を「芸術」に読みかえ、空間に配置されるインスタレーション作品として提示します。自然との対峙を求めて、北極圏から熱帯雨林、あるいは軍事的な境界線やバイオラボなど、これまで世界中を渡り歩き、さまざまな自然の姿を身をもって体験してきました。

今年度、三原さんは、NISSAN ART AWARDのファイナリス



トに選ばれました。この賞は日産自動車



《無主物》2020 Photo by Keizo Kioku
Photo Courtesy:NISSAN ART AWARD

豊かな日本人の現代美術アーティストに贈られます。海外の著名な美術館館長や批評家などが国際的な視点でファイナリスト5名を選出し、受賞者は最終選考となるファイナリスト展で選ばれます。ASKはそのファイナリスト展に出品する三原さんの作品制作などを支援しています。



2020年度アーツサポート関西 助成先

●岩井コスモ証券ASK支援寄金助成：総額400万円

分野	申請者	活動内容	交付額(万円)
美術 デザイン	笹岡 由梨子	人形の手や顔に実写パーツをはめ込んだシュールでユーモラスな人形劇風のビデオ作品で注目を集める。	80
美術 デザイン	佃 七緒	世界各地に滞在しながら日常生活の中の道具や家具への興味をもとに、ドロ잉や陶素材の作品を制作。	70
美術 デザイン	堤 拓也	キュレーターとして共同アトリエ「山中Suplex」と「Studio Pay」を拠点にレジデンスやスクリーニングなどを実施。	50
美術 デザイン	宮坂 直樹	コルビジェが提唱したモデュロールなどの身体を尺度とした空間把握の基準を、作品として表現することを試みる。	50
美術 デザイン	野原 万里絵	場所の意味をイメージ化した「テンプレート」をもとに、多くの人を巻き込みながら巨大な絵画作品を手掛ける。	50
音楽	谷本 沙綾【継続助成】	2018年全国学生音楽コンクール第1位。新進気鋭のヴァイオリニスト。海外のマスタークラスへの参加などを予定。	50
音楽	堀江 恵太	大阪を拠点に活躍する俊英ヴァイオリニスト。ウィーン国立音楽大学修士課程卒。リサイタル活動を精力的に行う。	50

●一般助成：総額500万円

分野	申請者 / 活動名	活動内容	交付額(万円)
美術 デザイン	TOCHKA(トーチカ) 「舞台」憑依するエミール・レイノー」の制作など	ペンライトの軌跡をコマ撮りし空中に浮かぶ光のアニメーションとして表現する手法を確立。アニメーションの先駆者レイノーに捧げるオマージュの舞台を制作する。	80
美術 デザイン	三原 聡一郎 「NISSAN ART AWARD 展の新制作など」	メディアアーティストとして関西を拠点に活動。NISSAN ART AWARD ファイナリスト。混沌とした自然を思弁的に表現するメディアアート作品を手掛ける。	50
舞台芸術	林 慎一郎 「極東退屈道場「LG21クロニクル」上演など」	昨年、俳優と観客が移動しながら演劇を上演する回遊型公演が好評を博し、2020年度はその第2弾となる「LG21クロニクル」を上演する予定。	50
舞台芸術	一般社団法人KIO 「ミュージカル『地下鉄1号線(仮称)』上演など」	児童劇団として全国の小中学校など年間100公演以上を行う。ドイツの同時代戯曲ミュージカル「line1」を舞台をベルリンから大阪に移して上演する。	50
伝統芸能	林本 大 「自主公演『大の会』の開催など」	能楽師として日本の伝統文化の継承と普及に積極的に関り、自ら「大の会」を主宰。子どもたち向けに能教室にも力を入れた活動を行っている。	50
伝統芸能	菊央 雄司【継続助成】 「平家復曲プロジェクトなど」	三味線、箏、琵琶、胡弓を弾きこなす邦楽演奏家。この世代のトップランナー。「平家復曲プロジェクト」に取り組み、失われた平家琵琶曲の復曲を行っている。	50
美術 デザイン	麥生田 兵吾【継続助成】 「作品集『Artificial S』の出版など」	2019年度からの継続助成。写真や芸術の意味を10年以上にわたり問い続けてきた写真シリーズ「Artificial S」の出版などを予定。	40
音楽	一般社団法人日本テレマン協会 「『高田泰治リサイタル』などの演奏活動」	大阪を拠点に18世紀バロック音楽を中心とした演奏活動を行う。自主公演は年20回におよぶ。注目のチェンバロ奏者高田泰治のソロリサイタルなどを予定。	30
音楽	公益社団法人大阪市音楽団 「『第132回定期演奏会』などの演奏活動」	1928年設立の日本最古のブローの吹奏楽団。2012年に市の運営から離れ民営化。教育普及活動にも力を入れ学校の吹奏楽の指導などにも積極的にあたっている。	30
音楽	音遊びの会 「ワークショップおよび自主企画公演など」	知的障害のある子どもたちとプロの演奏家とともに音楽をつくり舞台で演奏する。2005年から活動を開始。国内の国際芸術祭に招聘され演奏を披露することも多い。	30
舞台芸術	武田 力【継続助成】 「『教科書カフェ』の開催など」	地域の民俗史などをとらえて身体や演劇的な表現を模索。2020年度は「さいたま国際芸術祭」にて、鑑賞者が手に取る教科書が喚起する個々の記憶や日本の歴史を問う作品を発表予定。	30
音楽	橋本 彩音 「『子どものためのコンサート第13弾』の開催など」	神戸大学の学生が中心となって子どもたちに一流のクラシック音楽を届ける演奏会の第13回の企画。2020年は「シリクスフルートアンサンブル」を招聘予定。	20

●個別寄金助成：総額330万円

寄金名	申請者 / 活動名	活動内容	交付額(万円)
八千代電設工業伝統芸能支援寄金	志芸の会 「夏休みキッズ狂言教室の実施など」	大蔵流狂言方 善竹忠重が主宰し神戸を中心に活動。神戸市と連携し小学生を対象にした狂言教室を毎年開催している。	25
	特定非営利活動法人和歌の浦万葉新能の会 「『第22回和歌の浦万葉』の実施など」	万葉集に謳われた和歌にちなみ、和歌の浦の野外舞台で新能を上演。同時に子どもたちを対象にしたワークショップも行う。	25
上町台地現代アート創造支援寄金	湯川 洋康 「『上町台地→台湾→上町台地』の実施など」	アジア圏における移動と観光をアートと結びつけて考察。台湾と上町台地をつなぐアートの可能性を模索する。	20
ココヨ文案支援寄金	公益財団法人文案協会 「『そうだ文案へ行こう!! ワンコインで文案』」	国立文案劇場での文案本公演を30歳以下の若者に500円で鑑賞してもらった取り組み。2014年の開始から今年で7年目を迎えた。	250
一花さかせ寄金	中田 粥 「『bottled water』の実施など」	創作楽器による音楽活動を支援する寄金から、シンセサイザーを分解してその部品で楽器を作り演奏する取り組みをサポート。	5
匿名寄金	空間現代 「海外公演活動など」	インディーズバンド活動を支援する寄金から、坂本龍一や詩人吉増剛造とのコラボレーションで知られる「空間現代」の活動を応援。	5

お知らせ

「モノde寄付」はじめました

不要になったモノで
私たちに必要な文化やアートを
育てるしくみです

買ったけれども今は使わなくなったブランドバッグや美容機器、新しい機種に交換したまま処分せずに残っている古いスマホやパソコン、あるいは書棚でホコリをかぶっている書籍やCD、DVD。そうしたモノがアーティストの支援に生まれ変わります。アーツサポート関西「モノde寄付」は、オンラインでお申し込みいただいたら、あとは箱詰めをするだけでOK。ご希望の日時に無料で集荷にお伺いします。「いつか役に立つかも」「捨てるのはもったいない」と思ってとっておいたモノたちを、ぜひアーティスト支援にお役立てください!!

1 お申し込み



モノde寄付申し込みサイトからオンラインでお申し込み。「ASKモノde寄付」で検索

※買取基準がございます。アーツサポート関西WEBサイトにてご確認ください。

2 箱詰め



ブランドバッグ、ビジネスバッグ、スマホ、カメラ、パソコン、美容機器、電動工具、書籍、コミック、CD、DVD、ゲームソフト、

ゲーム機、おもちゃ、模型などを箱詰め。
※ダンボールはご用意ください。

3 無料集荷



運送会社のドライバーが印字済みの集荷用伝票をお持ちいたします。



QRコードからもアクセスできます。
※Bookoff Onlineのサイトに移動します。

詳しくはホームページをご覧ください。▶ <https://artssupport-kansai.or.jp/>